

MV-22オスプレイの配備及び飛行訓練 に関する緊急要請

平成24年7月

渉外関係主要都道府県知事連絡協議会

(略称：渉外知事会)

平成24年7月10日

外務大臣	玄葉 光一郎	} 殿
防衛大臣	森本 敏	

涉外関係主要都道県知事連絡協議会

(略称：涉外知事会)

会 長	神奈川県知事	黒 岩 祐 治
副会長	青森県知事	三 村 申 吾
副会長	長崎県知事	中 村 法 道
副会長	沖縄県知事	仲井眞 弘 多
	北海道知事	高 橋 はるみ
	茨城県知事	橋 本 昌
	埼玉県知事	上 田 清 司
	千葉県知事	森 田 健 作
	東京都知事	石 原 慎太郎
	山梨県知事	横 内 正 明
	静岡県知事	川 勝 平 太
	広島県知事	湯 崎 英 彦
	山口県知事	二 井 関 成
	福岡県知事	小 川 洋

6月29日、米国政府から日本政府に対し、海兵隊の垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの普天間飛行場への配備について通報がありました。

機体は、7月下旬に陸揚げのため岩国飛行場に到着する予定で、当該機の安全性に関して日本政府が有する懸念に鑑み、米国政府は、調査結果が日本政府に提供され、飛行運用の安全性が再確認されるまでの間、日本におけるいかなるMV-22の飛行運用も控えることとするとのことであります。

政府においても、米軍が作成した「MV-22の普天間飛行場配備及び日本での運用に関する環境レビュー」を関係自治体に説明するなど、配備に向けた取組を進めていると承知しております。

しかしながら、オスプレイについては、本年4月にはモロッコでMV-22が、また6月には米国フロリダ州でCV-22が墜落し、関係自治体ではこうした事態を深く憂慮し、安全性について大きな懸念を抱いております。

政府からは、米側から提供された情報として、事故に関して機体に機械的な不具合や設計上の欠陥はなかったとの説明がりましたが、十分な説明がなされたとは言えず、未だ関係する自治体や住民の憂慮と懸念は払拭されておられません。

当協議会ではこれまでも、関連する事故情報等を関係自治体はもとより、地域住民にも提供するよう求めてきたところであり、政府による丁寧な対応が必要であります。

政府においては、MV-22の安全性や事故原因、飛行訓練による周辺住民への影響等について、責任を持って関係自治体に詳細に説明するとともに、岩国飛行場への陸揚げ、準備飛行や沖縄県への配備、飛行訓練等については、関係自治体の意向を十分尊重されるよう強く要請します。